

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						2.5	
Q1 室内環境			0.36		-		2.5		
1 音環境		1.8	0.15		-		1.8		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-				
1.2 遮音		1.0	0.40		-				
1 開口部遮音性能		1.0	1.00		-				
2 界壁遮音性能		-	-		-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-		-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-		-				
1.3 吸音		1.0	0.20		-				
2 温熱環境		2.0	0.35		-		2.0		
2.1 室温制御		3.0	0.50		-				
1 室温		3.0	0.44		-				
2 外皮性能		3.0	0.20		-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.35		-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-				
2.3 空調方式		1.0	0.30		-				
3 光・視環境		3.0	0.25		-		3.0		
3.1 昼光利用		3.0	0.51		-				
1 昼光率		-	-		-				
2 方位別開口		-	-		-				
3 昼光利用設備		3.0	1.00		-				
3.2 グレア対策		-	-		-				
1 昼光制御		-	-		-				
3.3 照度		-	-		-				
3.4 照明制御		3.0	0.49		-				
4 空気質環境		3.5	0.25		-		3.5		
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-				
1 化学汚染物質	内装材/建具/家具は全てF☆☆☆☆材料を使用	4.0	1.00		-				
4.2 換気		3.0	0.30		-				
1 換気量		3.0	0.50		-				
2 自然換気性能		-	-		-				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50		-				
4.3 運用管理		3.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視		-	-		-				
2 喫煙の制御		3.0	1.00		-				
Q2 サービス性能			0.30		-		3.0		
1 機能性		2.9	0.40		-		2.9		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-				
1 広さ・収納性		-	-		-				
2 高度情報通信設備対応		-	-		-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30		-				
1 広さ感・景観	売場天井高5.5m	5.0	0.33		-				
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33		-				
3 内装計画		3.0	0.33		-				
1.3 維持管理		2.0	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30		-		2.8		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	VD・VB、SUS等のC以上を使用	4.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		2.6	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-				

3	対応性・更新性		3.4	0.30	-	-	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高3.9m以上確保	5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.13	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.34	-	-	1.9
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		1.5	0.30	-	-	1.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	1.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	2.9
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	2.7
1	建物外皮の熱負荷抑制		2.3	0.20	-	-	2.3
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		2.7	0.50	-	-	2.7
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.1
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節水型水栓や節水型便器を採用する。	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-	2.8
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	内装材にLGSやOAフロア等を採用し、部材の再利用化を図る。	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤不使用。	5.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1	地球温暖化への配慮	CO2排出率90%	3.4	0.33	-	-	3.4
2	地域環境への配慮		3.3	0.33	-	-	3.3
	2.1 大気汚染防止	燃焼器具を使用せず、大気汚染防止を図る。	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		2.3	0.33	-	-	2.3
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	1.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		2.3	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	2.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-	-	○		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	2.0	-	-	○		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	2.0	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	2.0	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0	-	-	-	3.0	3.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -
 U値(W/m²K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -
 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -

3.1.1 昼光率

昼光率 -

4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口面積率 -

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース - /人 病床 - /床 シングル - ツイン -

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 - VA/m²

1.2.1 広さ感・景観

天井高 5.5 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース - レストスペース 2.3%

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 - 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 15 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 - 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 - 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 6.3m m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 13.0%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 - N/m²

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 20% 建物緑化指数 0%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 57% 水平投影面積率 16% 地表面対策面積率 0% 舗装面積率 51%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 0.99 断熱性能等級 対象外 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 - MJ/年m² 採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 -

通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 -

3 設備システムの効率化

BPI/BPI_m 非住宅 0.86 住宅 - 太陽光 - 太陽熱等 - 蓄電池 -

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 -

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 -

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 2090

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 29% 隣棟間隔指標Rw 3.35

地表面対策面積率 7.9% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%

見付面積S_b 383m² 卓越風向と直交する最大敷地幅W_s 50.461 m 基準高さH_b 26.33 m

緑地 8m² 水面 8m² 保水性対策面 8m² 高反射対策面 m² 再帰性反射対策面 m²